

東地協ニュース 2022.6 第41号



震災から 10 年余を迎えて

(一社) 東京都地質調査業協会

外部理事 塚本 良道

(東京理科大学 理工学部 教授)

先日、研究室のゼミで話題提供をする機会がありました。数年研究室に在籍する院生と年毎に変わる卒業生に、何を話そうかと考えましたが、震災以降どのような研究を進めてきたかを、1 時間半程度ですが、まとめて話すこととしました。

震災直後は、単独で浦安市から千葉市美浜区まで歩いて回ったり、石原研而先生のグループに加わり、利根川下流域から茨城県の海岸沿いに足を運んだりなど、被害調査をしたのを思い出します。その後は、國生剛治先生と共同で研究助成を受け、千葉県香取市佐原地区の液状化、茨城県潮来市日ノ出地区の液状化、茨城県神栖市神之池周辺の液状化、茨城県ひたちなか市那珂湊の埋立て地盤上の道路盛土のすべり破壊などを、その都度、自治体の方々の協力を得て、SWS 試験を用いて精力的に調べました。また、潮来市液状化委員会の委員に加えていただいた時には、委員会で実施したトレンチ調査の隣で SWS 試験を実施させていただいたり、旭市液状化委員会の時には、砂鉄採掘深さの推定に SWS 試験の利用はできないかを試行させていただいたりなど、継続して活動をしてきました。その後も、コロナ禍に入る最近に至るまで、小貝川沿いの旧河道上に位置する河川堤防のすべり破壊を、SWS 試験を用いて調べてきました。ここでは、本協会の理事でもある片山浩明氏に、簡易サンプリング法に関して多大な協力を得て、有為な成果をあげられました。

これらの活動を「短期研究課題」とすると、「中期研究課題」は、SWS 試験の宅地地盤調査法としての高度化と、宅地地盤の液状化対策技術の開発となりました。SWS 試験の高度化では、先述の片山浩明氏のサンプリング技術により、飛躍的に高度化が図れました。また、液状化対策技術では、本協会技術顧問でもある西原聡氏に多大な貢献をいただいて、微粒子セメント浸透固化技術の開発に携わりました。

「長期研究課題」として位置づけられるのは、地盤の年代効果や微地形が、どのように液状化の発生に影響を及ぼすのか、その評価は可能なのか、といったものとなりました。

このように、色々な方々の協力を得ながら、ここまで活動を続けて来られました。今後も、地盤調査の重要性を世間に問いながら、協会の活動に貢献できたらと思っています。引き続きよろしくお願い申し上げます。

● 会議報告等

○ 第 38 回定時総会

4 月 27 日(水)、エッサム神田ホール 2 号館 6 階中会議室 1 にて、第 38 回定時総会が開催された。今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会員各位へ事前に総会資料をお送りした上で、内容に異議がない場合には、委任状のご提出をお願いした。会員数 26 社に対し、21 社が出席(うち委任状提出 14 社)となり、全議案が承認された。

< 議 案 >

- (1) 令和 3 年度事業報告承認の件
- (2) 令和 3 年度決算報告承認の件
令和 3 年度監査報告
- (3) 役員改選の件

協会理事の任期満了に伴う改選が行われた。改選の結果、以下の通り決定承認された。

また、理事会において、会長、副会長の互選及び各委員会委員長が決定された。

理 事 (10 名)

任期: 2 年 (令和 4~5 年度)

< 内部理事 >

会 長	網代 稔 (㈱ダイエーコンサルタンツ)
副会長	長谷川俊彦 (大和探査技術㈱)
専務理事	岡部 康典 (協会事務局)
技術委員長	川井 康右 (川崎地質㈱)
総務広報委員長	室矢 朋徳 (大和基礎設計㈱)

< 外部理事 >

山崎 晴雄 (首都大学東京 名誉教授)
若松加寿江 (関東学院大学 工学総合研究所)
桑原 文夫 (パイルフォーラム㈱ 取締役 副社長)
塚本 良道 (東京理科大学 理工学部 教授)
片山 浩明 (東邦地下工機㈱ 東京開発部)

< 報告事項 >

- (1) 令和 4 年度事業計画の報告
- (2) 令和 4 年度予算の報告



○ 理 事 会

1. 令和 3 年度 第 6 回

日時: 令和 4 年 2 月 15 日 (火)

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 令和 3 年度正味財産見込み及び令和 4 年度事業計画・予算(案)について
- (3) 東京都都市整備局 災害協定締結依頼
- (4) 総務・広報委員会関係
 - 1) 委員会報告(2 月 4 日)
- (5) 技術委員会関係
 - 1) 委員会報告(12 月 2 日)
- (6) 「東京都との意見交換会」報告
(建設局 11 月 19 日, 財務局 11 月 25 日)
- (7) ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会(春期)
- (8) 第 36 回地質調査総合センターシンポジウム(後援)
- (9) その他報告

2. 令和4年度 第1回

日時：令和4年4月27日（水）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 第38回定時総会の進行について
- (3) 東京都都市整備局 災害協定に関する3団体合同打合せ
- (4) 総務・広報委員会関係
 - 1) 委員会報告(4月15日)
- (5) 技術委員会関係
 - 1) 委員会報告(4月26日)
- (6) 東京都建設局からの研修講師派遣依頼
- (7) ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会(春期)について
- (8) 関東協会への支部行事補助金申請について
- (9) 令和4年度東京都予算に対する「要望の回答」について

3. 次回理事会開催予定

日時：令和4年6月21日（火）



☆ トピックス(協会行事紹介)

◎ Web コンテンツ「地盤や地下水の環境について学ぼう」

環境部会では、令和2年度より、『地盤や地下水の環境について学ぼう ～地質調査業を取り巻く土壌・地下水環境技術の紹介～』と題し、当協会のホームページ上で、地盤環境に関する情報提供を行っております。

地質調査業を取り巻く環境に関する分野として、地下水、土壌汚染、廃棄物について技術紹介やコラムの他、講習会や現地見学会など、当協会で開催した関連する活動について紹介しています。

幾つか紹介しますと、「水環境に関わる現地測定技術(技術紹介)」「段丘崖と湧水について勉強してみよう(コラム)」「奥多摩の湧水とわさび(コラム)」「東京臨海部の土壌汚染(コラム)」「東京の廃棄物処理(コラム)」「地質調査と地中熱利用(技術紹介)」「東京臨海部の液状化(東京の地盤環境)」など、基本的な技術の他、東京の地盤環境に関する一般的な話題も含めており、ちょっとした空き時間の読み物としても興味を持って頂けるよう試行錯誤中です。

現在18編作成しており、今後も少しずつ追加していく予定です。是非、当協会のホームページを訪れて、読んでみて下さい。取り扱ってほしい話題などありましたら、当協会事務局までご連絡ください。

【地盤や地下水の環境について学ぼう】

<https://www.tokyo-geo.or.jp/topics/env.html>



(技術副委員長 西村 修一)



◎ 令和4年度 ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会
(春期・4月7日～4月9日)

この講習会は、当協会の地質調査技術の向上に関する事業の一環として、東邦地下工機株式会社様(東京都品川区)にご協力頂き、毎年春・秋の2回実施しているものです。

新型コロナウイルスの影響もあり、昨年度と同様に学科講習を2日間に分け、参加者も人数を制限しての募集となりました。

講習会には協会会員にとどまらず遠方からの受講者もあり、計41名の方が集まりました。講義内容は、学科講習を1日目と2日目に分け、3日目には実技講習を行い、講師は当協会片山浩明理事ほか、実技では東邦地下工機殿の職員の方数名によって行われました。また、開催にあたっては参加者の体温計測、消毒、換気などを実施し、感染拡大防止に努めました。

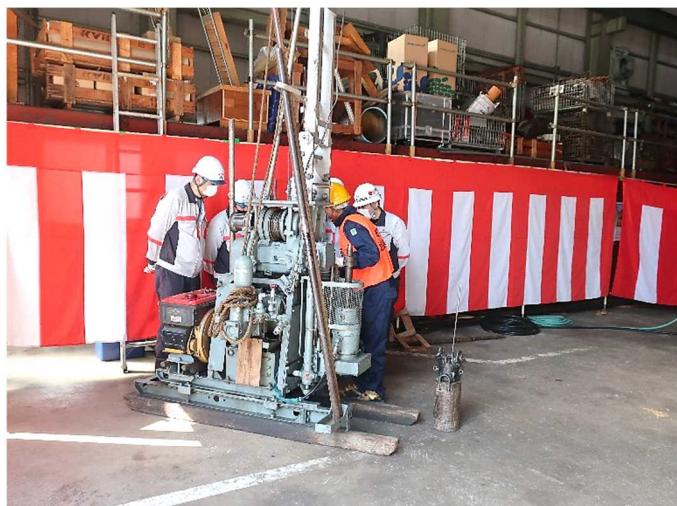
1,2日目の学科講習は、ボーリングマシンに関する知識(基礎知識・構造、運転及び点検・整備)、マシンの運転に必要な一般事項に関する知識(施工・力学と電気)、および関係法令・災害事例等、現場に直結した内容で講義がなされました。

翌日の実技講習では、ボーリングマシンを4台使い、エンジンの始動・停止、巻上げ機やコーンプリーを使ったロッド、ドライブハンマーの上げ下ろしの他、マシン操作時に潜んだ危険性等について実践的な講義が行われました。

3日目の実技講習後、学科・実技2日間受講された方全員にCPDポイントと修了証が授与され、講習は無事に終了致しました。

本講習は、学科、実技ともに普段の作業に生かされる内容で行われ、現場作業での安全・安心を確保するために多くの知識を得ることができます。事前の問い合わせの多さも含めて、この講習会の必要性の高さが伺えました。今後も継続して開催していきたいと思いますので、ご活用頂ければ幸いです。

(技術委員 近藤 龍児)



◎ 「令和4年度若手技術者向け地盤環境技術講習会」

開催のご案内

このたび環境部会では、『若手技術者向け地盤環境技術講習会』を開催いたします。本講習会は、地盤調査ならびに環境調査に携わる（またはこれから携わろうとする）若手の技術者の皆様を対象に、研修の一環として基礎的技術力の向上に寄与するべく企画いたしました。

本講習会では、東京臨海部の地形・地質の概要と変遷、液状化・地盤沈下・高潮など東京臨海部に特徴的な災害とその防災、都市開発や不動産売買において必要な地盤環境調査に関する法律・考え方・調査手法について講義を行います。

講習会の内容は入門者の方にもわかりやすい基礎的な内容となっております。

会員各社様におかれましては、社内で御周知いただき奮ってご参加いただきたく存じます。

日 時 : 令和4年7月21日(木) 13:20~17:00

場 所 : 測量地質健保会館7F大会議室

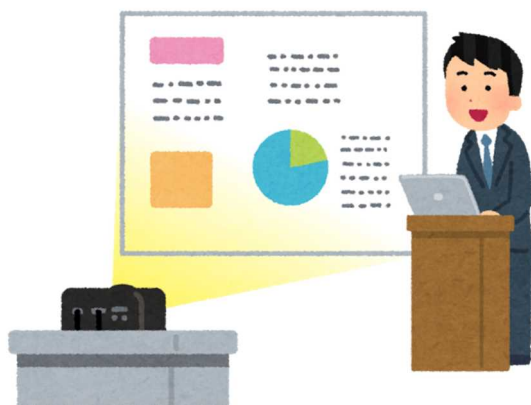
受講料 : 会員1,000円 非会員・個人2,000円

申込期間 : 令和4年6月15日(水) ~ 7月14日(木)

※なお、新型コロナウイルス感染状況が今後拡大するなどした場合は延期又は中止となる可能性もございますので、予めご了承のほどお願い申し上げます。

詳細は協会事務局までお問い合わせください。

(技術委員 摺建 友広)



お店紹介

～青梅に普段のごちそうを食べに行こう～

今回紹介するお店は、東京都民の憩いの場所である奥多摩玄関口の青梅にあるダイニング&ギャラリー繭蔵（まゆぐら）です。青梅は昭和初期までは養蚕業が盛んで、昭和初期頃から木綿夜具地（やぐち；やぐちは布団地）の織物で栄えてました。繭蔵は青梅織物工業協同組合で夜具地の倉庫として使われていた石蔵で、平成12年に全面改修して国の登録有形文化財にも登録されています。繭蔵は、”普段のごちそう“をコンセプトとした心と体にやさしい料理です。創作和食料理がメインで、旬の魚、季節の野菜を中心とした素材の持ち味を生かした健康も美容も栄養バランスもとれた食事です。

ランチは蔵膳、繭膳の膳と、各プレート（菜食、季節のカレー、季節のシチュー）メニューです。今回夫婦でランチに出かけ、妻は繭膳、私は菜食プレートを頂きました。食材が多く、新鮮で旬の味を堪能しました。普段の食事は中華、洋食など油を使ったものに偏りがちなので、食材の味を生かして調理した品は体に優しく、本当においしいランチでした。おいしさは料理だけではなく、蔵空間での食事が五感でいろいろ感じられるからだと思います。店主はデザイナーでもあるので店内のインテリア、外装も手掛けしており、ギャラリーとして芸術品の展示、音楽会などのイベントも行っています。二階はギャラリーとして利用され、蚕の屋根裏であったのか落ち着いた板の間で、現在はハンモックでくつろげる空間となりました。

食事は料理のおいしさだけではなく、場所、雰囲気も大切です。青梅はフォレスト地であり、昭和レトロも残っています。繭蔵は昔ながらのちょっと洒落た和を感じ、心と体が健康的になる食事を堪能できるお店です。午後は喫茶として利用するのもお勧めです。



ダイニング&ギャラリー 蔦蔵

住所：青梅市西分町 3-127

電話：0428-21-7291、<https://mayugura.com>

営業：11:00～14:00（お昼）、14:00～16:30（午後）、年中無休（臨時休日あり）

アクセス：青梅線青梅駅、東青梅駅から徒歩 10 分、駐車場は 2 時間まで無料

電話で予約がしたほうがよいです。ランチの膳は 2,000 円から 4,000 円、プレートは 1,500 円程度で楽しめます。

（文筆：Y. O）



▲ 行事日程

日程	行事名・内容等
6月17日(金)	(全地連) 道路防災点検講習会
7月9日(土)	(全地連) 地質調査技士 資格検定試験
7月21日(木)	(東京) 若手技術者向け地盤環境技術講習会
7月29日(金)	(関東) 災害復旧事業技術講習会
夏期予定	(東京) 第4回 災害対策セミナー in 東京
8月27日(土) 8月28日(日)	(関東・東京) そなエリア東京 防災イベント
9月3日(土)	(関東・東京) 東京都・品川区合同総合防災訓練
10月予定	(東京) ボーリングマシン安全衛生 特別教育講習会 (秋期)
11月8日(火) 11月9日(水)	(全地連) 技術フォーラム 2022・沖縄
11月18日(金)	(全地連) 道路防災点検講習会
11月30日(水)	(関東) 地質調査技士 登録更新講習会



・ 編集後記 ・

令和4年4月27日に当協会の第38回定時総会が無事開催されました。関係者の皆様、お疲れ様でした。

さて、今年は3年ぶりに行動制限の無いGWでしたが、皆様いかが過ごされたでしょうか。行楽地も大分にぎわった様ですね。

今年も暑い夏が予想されます。酷暑、局地的なゲリラ豪雨など、心配な要素が色々ありますが、異常気象と温暖化の関係から、持続可能 (Sustainable) な人類の将来を考える機会を持つのも、良い事かも知れません。

(K. D)

■ 会員(正会員・賛助会員) 動静

住所・代表者・会社名等の変更がございましたら、お手数ですが協会事務局までご連絡をお願い致します。（協会事務局 TEL 03-3252-2963）

東地協ニュース 2022.6 第41号

発行・編集 一般社団法人東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp